

整理番号	事業名
195・197・ 200・202	生涯学習関係経費

所管部局
教育委員会生涯学習部
戸井・恵山・楳法華・南茅部教育事務所

※()の数字は、委員数

所管部局の評価			外部評価	
評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価の妥当性	「妥当でない」と評価した理由
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	妥当(1) 妥当でない(3)	〇ニーズについては、参加延べ人数だけではなく、実参加者数を把握したり、地区内対象者に対する参加率を見るなどして把握できると思う。
	市の関与の妥当性	社会情勢等から関与が妥当	妥当(4) 妥当でない(0)	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	妥当(1) 妥当でない(3)	〇参加対象者数の把握をした参加率をだしたり、参加者アンケートの結果などを用いた成果指標の設定を検討してほしい。 〇成果指標は作らないと、継続させていく必然性に乏しくなる。 〇アンケート等を全事業で実施し、ニーズに合った事業を行うべき。 〇高齢者に片寄った事業構成の見直しや、地域間交流の促進に寄与できる事業が欲しい。
	事業目的実現のための手段	現手段が最適	妥当(1) 妥当でない(3)	
コスト・負担	コストの節減度	節減できている	妥当(4) 妥当でない(0)	〇成果を数値などで「見える化」することにより、必要に応じた事業費の増もあり得ると思う。
	将来コスト増減見込み	現在と変わらない	妥当(3) 妥当でない(1)	
	受益者負担の適正度	評価対象外		
執行方法	外部委託の可能性	しづらい性質の事業	妥当(4) 妥当でない(0)	〇各地域持ち回りでの事業展開も検討できないか。
	実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	妥当(3) 妥当でない(1)	

所管部局による今後の改善策	
基本方針	現行どおり



今後の改善策について	意見・提言
①現行どおり (0) ②改善(2) ③当面現状維持(2) ④廃止(0)	〇参加者にアンケートをとる等、開催後の状況を見える化、把握し、今後の事業内容をより良くしていく材料とできる仕組み作りをお願いしたい。 〇高齢化率がこれからも高まることが予想される地域であることを踏まえ、地域コミュニティの一体化を進めるような事業を行ってほしい。 〇四事業を統一し、事業の効率化、事業内容の向上が図れないか検討を進めてほしい。 〇合併前からの慣習もあるだろうが、旧市内からも参加できるようにするなど、そろそろ連携して、函館市民全体へのサービス事業にしていこうということも考えられるのではないか。 〇函館市の事業として各地区の交流が進み、協力し合えることを願います。
外部評価委員会としての提言	
<input checked="" type="radio"/> 当面現状維持	

